

令和6年3月31日

放課後等デイサービス After School 虹  
施設長 岩堀 秀明

## 放課後等デイサービス 自己評価表集計結果 報告書

日頃より After School 虹の活動にご理解ご協力いただき、感謝申し上げます。  
アンケートにご協力いただきましたご利用者の皆様、本当にありがとうございました。  
先に実施したアンケート調査について、下記の通り集計した結果を公表させていただきます。

### 1. 調査の目的

「放課後等デイサービスガイドライン」に基づき、1年に1回程度、事業者向け、保護者向けの自己評価（アンケート）を作成し、その結果を踏まえて、事業運営の改善を図るものとする。

### 2. 調査期間

令和6年1月27日～令和6年3月30日

### 3. 調査内容

- (1) 放課後等デイサービス After School 虹（放課後等デイサービス）をご利用中のご家庭 23 家庭
- (2) 放課後等デイサービス After School 虹（放課後等デイサービス）に従事する児童発達支援管理責任者 1 名、保育士 5 名、児童指導員 2 名、計 8 名

### 4. 調査方法

- (1) 保護者の方に送迎時、郵送等にて調査票（保護者向け）を配布、無記名で記入後回収。
- (2) 従事者 8 名に調査票（事業者向け）を配布、無記名回収。

### 5. 回収状況

回収数（保護者向け 23 票、事業者向け 8 票）

### 6. 保護者様からのアンケート結果について

#### 【環境・体制整備】

活動範囲が広がり、課外活動・農作物の栽培・クッキング等様々な経験を通して、対人関係・コミュニケーションスキル・社会性・自己コントロール等獲得できる環境を提供してきました。一人一人の成長をサポートできるよう専門性を高めると共に保護者の方との連携を大切にしてきました。

今後も引き続き感染対策、衛生管理に努め、児童生徒の活動、学習等のスペース・配置について検討を行い、行事等計画し工夫を凝らしていきたいと思ひます。

#### 【適切な支援の提供】

児童生徒と保護者にニーズや課題に対して細やかな対応ができるため、保護者会を年3回行うことで情報提供・共有・意見交換・課題の見直し等が客観的に評価され、児童生徒にとって必要な適切な支援方法について保護者の方と一緒に前向きに検討していくことができました。来年度も引き続き保護者会等を実施すると共に、安心して相談ができるよう努めていきたいと思ひます。

また、適切な支援につなげていくための計画・実施・評価・改善の工夫と対応を行い、環境の変化にも配慮したプログラムの提供をしていきたいと思ひます。

放課後等デイサービス利用者以外の子どもの関わりとして、同施設内に保育所があり日常的に関わり活動を行っています。特に長期休暇は、お兄さん・お姉さん先生として絵本の読み聞かせや、散歩等戸外活動を通して関わりを深めています。様々な人との出会いの中で自分を必要としてくれる経験から自己肯定感を高めていくと共に社会性を培っていきけるよう支援しています。

#### 【保護者への説明等】

連絡帳やお便りを通して活動の様子等伝えると共に写真を掲示することによって保護者の方がイメージ持てるよう発信しています。

学校での様子を担任から聞き取り伝えることによって学校生活も安心して送れるよう、家庭・学校・放課後等デイサービスとの連携を密にしています。

児童生徒・保護者の悩みに対して個人情報厳守しながら面談をし不安が少しでも軽減できるよう配慮しています。また、保護者会を行い情報提供や講師を招いて勉強会などを行い子育てが前向きになれるよう配慮しています。

#### 【非常時の対応】

非常時の訓練を行うことで、大切な命を守るためのスキルが身に付けられるよう実施しています。

訓練等を行った際の報告を写真の掲示等でもお伝えできるよう努めています。

保護者の方々にもより分かりやすくお伝えして、安心していただくために周知していきけるよう工夫に努めます。

### 7. アンケート結果について（まとめ）

今回のアンケート対象について、放課後等デイサービスをご利用中の保護者様、また従事している職員に対して調査を実施しました。

児童生徒にとっても、保護者にとっても、その家族にとってもつながりあい支え合える居場所となるよう努めていきたいと考えています。

児童生徒を中心に家庭・学校・地域・専門機関が手を取り合い情報を共有することで支援が分散しないよう努めていきます。

職員間の自己評価においては、事業所内調査を行い、保護者の方々からのアンケート

の意向等を把握し業務改善につなげて行きます。活動プログラムの工夫を行い、支援方法等、児童生徒がともに育ちあえるように、途切れない支援のために、職員同士の連携と、支援の質の向上のために専門機関と連携し、法人内外において研修へ積極的に参加し研鑽を積んでいけるよう努めてまいります。

今後ともご理解ご協力をお願い致します。